Milestone

みなさんの進路選択の目印となりますように

二見中学校　第３学年
進路通信　第３１号
平成 29(2017)年７月１８日

Ｑ５　複数志願選抜で第１、第２希望とも不合格の場合はあるのですか・・・？

Ａ　あります。一般入試では、通知表を２５０点満点、当日の学力テストを５００点満点のテストを半分の２５０点満点にして合計５００点満点で計算されますが、第１希望校にはその合計点に加算点の２５点を加えて判定されます。第２志望校は素点のみで判断されます。ともに合格ラインに届かない場合は不合格です。過去には第１、第２とも不合格になった生徒も数名います。
１点２点の差で合格・不合格の差が出来る受験だからこそ、加算点の２５点をどの学校に対して使うのか（第１志望をどの学校にするのか）はとても重要になってきます。

Ｑ６　第１志望校に合格すれば必ず入学しなければならないのか・・・？

Ａ　その通りです。もし、辞退することになれば、公立高校は合格者定員と同じ人数しか合格者をとりませんから、辞退するということは、合格者定員に穴を開けることになります。その人のために、不合格になっている人が合格できたわけですから、これはあってはならないことです。私立高校の専願入試、公立推薦は第一希望になります。また、３月の公立一般入試も専願入試となります。ですから、合格すれば必ず入学しなければなりません。

複数志願選抜で注意すべきことは、「第二希望」で合格であっても、「第一希望ではないから」と入学を辞退することはできません。

私立高校が思った所に合格できた。そこで、公立一般の第１希望が不合格になるなら、公立に進学せずに私立に進学したい、と考えるのであれば、出願の段階で第２希望を願書に書かないようにしなければいけません。第二希望校を書くのか書かないのか、書くのであればどこにするのか、よく考えていきましょう。

Ｑ７　大学進学に有利なのは・・・？

Ａ　基本的には普通科は大学受験に必要な科目の学習が中心となっていますから、向いていると言えますが、専門学科からの大学進学もかなり増えていますので、昔のようなことはありません。高校には大学への指定校推薦制度などもあり、商業科や工業科、農業科などで様々な資格を取得し、それを活かして専門の大学に推薦で進む人も増えています。総合学科の明石南は進学に向けてのカリキュラムを組み、大学進学に力を入れています。また、大学進学よりも専門学校で高い職業実務能力を目指そうとしている人もいます。

Ｑ８　「実際に受験ができる」とは、どういうことですか・・・？

Ａ　まず、試験の日が重なっていれば、受験はできません。公立推薦入試（特色選抜を含む）は第１希望とする１校１学科のみ受験できます。高専と公立高校では推薦入試の日程は違いますが、２校に推薦することは出来ません。公立定時制入試は、３月１２日の公立高校一般入試日に行われました。今年度の日程は募集要項等の発表後に連絡をします。

1 月以降の主な日程

	入試関係	書類などの準備
1 月		8 日　高専推薦願書点検 9 日　私立高校願書配布 高専推薦出願　⇕ 私立考査料入金 中旬　私立高校願書点検
	20 日　高専推薦入試	公立推薦願書配布　⇕ 兵庫県収入証紙
	24 日　高専推薦合格発表	下旬　私立高校願書送付　⇕ を準備 公立推薦願書点検
2 月		2 日　公立推薦願書送付
	9 日　私立高校入試	上旬　公立一般願書配布
	13 日～私立高校結果発表	⇕ 兵庫県収入証紙
	15 日 16 日　公立推薦入試	⇕ を準備
	18 日　高専一般入試	19 日　公立一般願書点検
	20 日　公立推薦入試結果発表	
	22 日　高専一般結果発表	22 日　公立一般出願 28 日　公立一般志願変更
3 月	**12 日 13 日　公立一般入試**	
	19 日　公立一般入試結果発表	20 日　公立 2 次募集出願 私立再募集

現段階では以上のような予定になります。3 学期の始業式が終われば、すぐに私立高校の出願に向けての準備が始まります。中学校では冬休み中に願書の取り寄せなどを行いますので、**12 月の懇談で受験校の確定をよろしくお願いします。**